

令和5年度 高輪さつき保育園 自己評価

保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、本園の保育の内容等について、自己評価を行いましたので、その結果を公表します。本園の保育・教育全般を総合的、客観的に評価し、改善点を見つけ出し、目標・課題を設定し、より良い保育環境や保育の質の向上に努めてまいります。

〈評価について〉 評価をするにあたっては、以下のような基準で評価を行っています。

A：よく出来ている B：ほぼ出来ている C：改善が必要 D：改善しなければならない

※職員全体が行った自己評価を基に園の自己評価をしたものです。

評価対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日 評価責任者：中濱あゆ子

1 保育の理念・保育観		評価
1	保育士一人ひとりが、保育園の保育理念・保育方針を理解している。	C
2	保育園の保育方針を理解して、保育計画が立てられている。	B
3	常に保育方針や保育観を確認できるような機会をつくっている。	C
4	一人ひとりの主体性を大切にされた保育をしている。	A
5	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	A

2 保育計画・指導計画		評価
1	保育方針のねらい及び内容が達成できるような保育課程や保育計画を立てている。	A
2	保育計画に基づき、子ども一人ひとりの発達の姿や興味を把握して、年間計画・月案・週案を立てている。	A
3	3歳未満児は、現在の姿を理解し、見通しをもって一人ひとりに応じた保育計画を立てている。	A
4	配慮の必要な子には、その子に応じた保育計画を立てている。	A

3 食育		評価
1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている。	A
2	栄養士・保育士が連携し、会議等で意見を交わしながら、よりよい給食になるよう努めている。	A
3	できるだけ、地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている。	A
4	給食やおやつは手作りしている。	A

4 職員構成・役割分担・研修		評価
1	職員の仕事や役割が明確であり、連携を取って円滑な園経営ができています。	A
2	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制ができています。	A
3	職員が各係に所属し、園の保育や内容を深めるために、それぞれが活発に活動している。	A
4	園内研修と園外研修の計画を立て、実行している。	A
5	施設整備や遊具等の安全点検を行っている。	A

5 保護者支援		評価
1	保護者と良好な関係を作ろうとしている。	A
2	園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている。	B

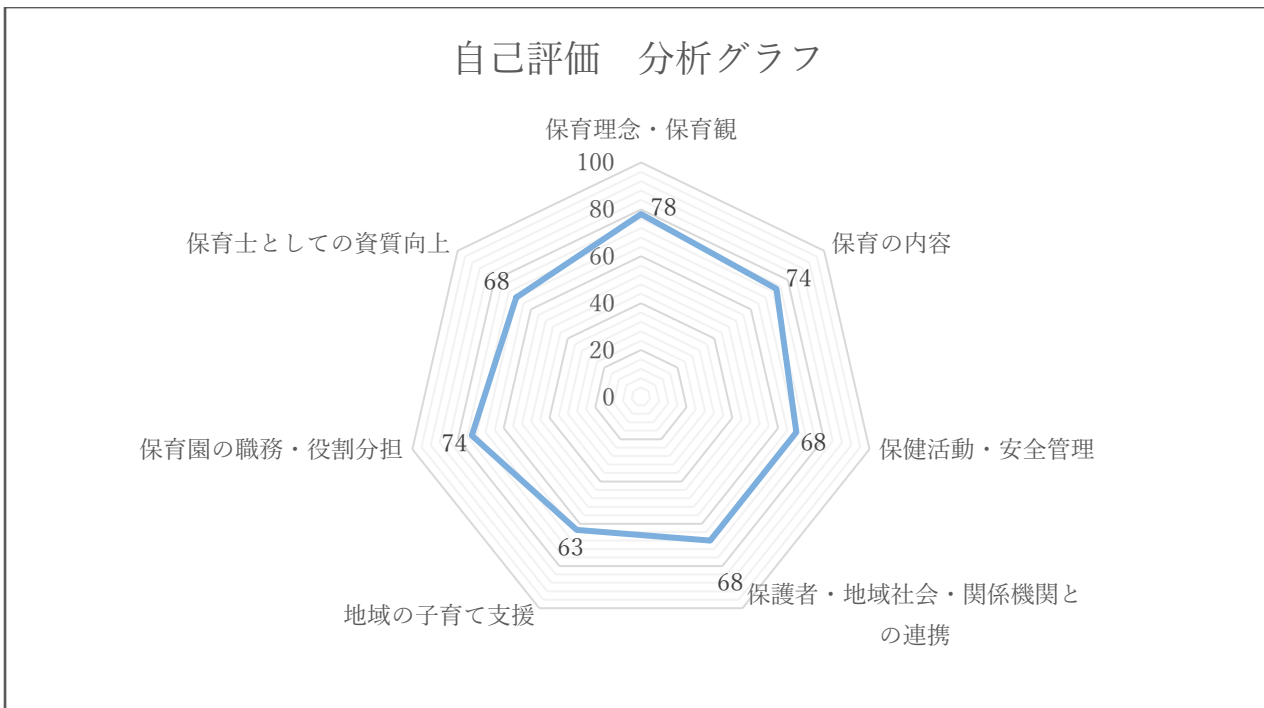
3	保護者の状況を理解し、個人情報の漏洩に気を付けている。	A
4	子育てのパートナーとして保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。	A

6 子育て支援		評価
1	地域に開かれた園として、日々子育てをしている親子を受け入れている。	C
2	地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている。	C
3	子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている。	C
4	園生活の子どもの様子を地域にも発信している。	C

7 小学校や地域社会との連携		評価
1	定期的に小学校と交流を行っている。	B
2	定期的に小学校や幼稚園との会議や職員交流を行っている。	B
3	高齢者との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている。	B

保育士 保育内容等の自己評価

実施日 令和6年4月



保育士の保育内容等の自己評価結果を踏まえ、改善点や課題を見つけ、以下総括とする。

		平均点
1	保育理念・保育観	78
2	保育の内容	72
3	保健活動・安全管理	68
4	保護者・地域社会・関係機関との連携	69
5	地域の子育て支援	63
6	保育園の職務・役割分担	74
7	保育士としての資質向上	69

- ・園の理念や方針を全職員に伝える機会を増やして行く必要があると感じた。
今自分たちが行っている保育、できる保育に対して、自信を持てるような機会を増やすことが必要だと考える。
(園の理念・方針・目標を目指しているからこそ良い保育が出来ているという実感が持てるようにする)
- ・地域に向けた子育て支援は、企画・発信ともに、まだまだ改善の余地あり。